

令和2年度大分県学力定着状況調査結果

1. 調査の概要

- (1) 調査期日 : 令和2年6月22日(月)～25日(木)
 (2) 調査を実施した児童・生徒数(学校数) ※国県私立学校を含む。

	学習調査を実施	質問紙調査を実施
小学校5年生	1,864人(86校)	9,418人(253校)
中学校2年生	2,242人(46校)	8,962人(124校)

- (3) 調査内容 : 学習調査(「知識」及び「活用」) と 質問紙調査を実施。

- (4) 市町村立学校の実施状況

実施内容	市町村
学習調査	豊後高田市, 日出町, 臼杵市, 津久見市(中) 佐伯市, 竹田市, 豊後大野市, 玖珠町, 九重町
質問紙調査	全市町村

※期間内に学習調査を実施しない市町村には、問題用紙等を提供した。

2. 学習調査結果の概要(教科別偏差値平均)

対象児童	小学校5年生					
	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
県全体 (県立・国立・私立を含む)	52.2	52.1	52.5	51.8	51.3	50.7
市町村立学校	51.8	51.6	52.1	51.2	50.9	50.3

対象生徒	中学校2年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
県全体 (県立・国立・私立を含む)	54.0	53.8	53.8	52.3	54.7	53.2	52.4	51.9	53.0	53.0
市町村立学校	53.0	53.0	52.8	51.3	53.4	51.5	51.2	50.5	51.6	51.3

3. 教科別偏差値の推移【H25～R2】(市町村立学校)

学年	小学校5年生						中学校2年生									
	国語		算数		理科		国語		数学		理科		英語		社会	
区分	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
R2	51.8	51.6	52.1	51.2	50.9	50.3	53.0	53.0	53.4	51.5	51.2	50.5	51.6	51.3	52.8	51.3
H31	52.1	51.6	52.2	52.1	52.2	51.3	51.8	50.5	50.7	50.6	50.9	50.5	50.3	50.3	50.5	50.3
H30	51.7	51.1	51.8	51.5	51.6	51.1	52.0	50.4	51.3	50.2	50.7	49.9	50.7	50.6	50.9	49.7
H29	51.5	51.1	51.5	51.7	51.9	51.2	50.9	49.8	50.3	50.3	50.8	50.2	50.0	49.8	50.5	49.5
H28	52.5	51.6	52.4	52.4	52.1	51.1	51.3	49.8	50.3	50.4	51.4	50.6	49.9	50.2		
H27	51.6	50.5	52.3	52.4	52.1	51.3	51.0	49.4	51.0	50.5	50.6	50.5	49.9	49.9		
H26	51.4	52.2	52.0	51.9	52.0	51.3	50.6	50.5	51.3	50.5	52.7	51.5	50.3	50.3		
H25	51.4	50.2	52.0	51.7	50.9	50.7	50.5	49.9	50.8	50.3	50.2	49.7	48.9	49.5		

主な施策

R2
 ・授業力向上アドバイザーの配置
 ・英語科授業力/パワーアップ研修

H31
 ・小学校教科担任制推進校の指定

H30
 ・数学指導力強化巡回指導(中)

H29
 ・中学校学力向上対策3つの提言

H28.2
 ・組織的な授業改善推進手引き

H26
 ・新大分スタンダード

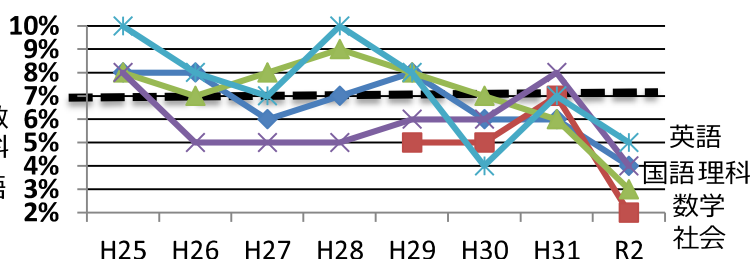
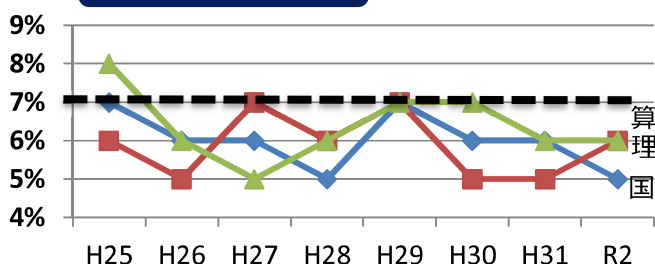
4. 解答状況から見てきたこと

- ・ 3学期の指導内容について、臨時休業の顕著な影響はみられない。
- ・ 無解答率は、昨年と同程度である。
- ・ 全教科とも根拠をもとに、筋道を立てて説明することに課題がある。

5. 偏差値の5段階分布と低学力層の状況(市町村立学校)

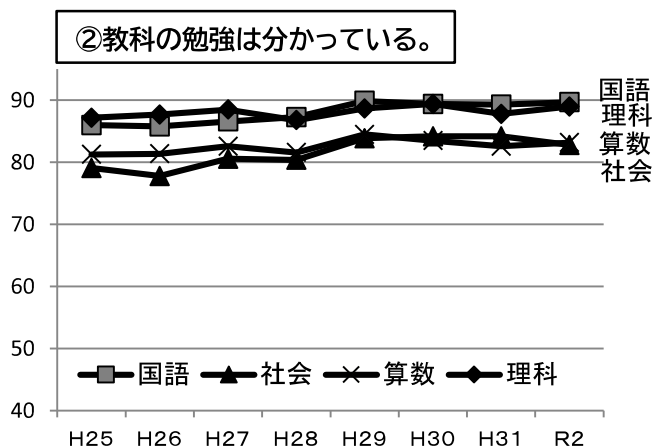
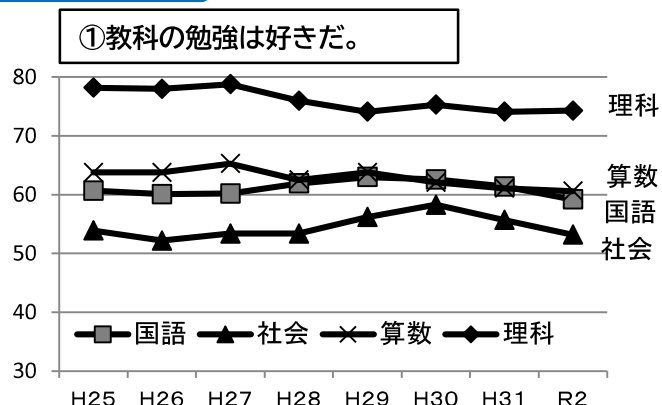
区分	段階	1	2	3	4	5
	偏差値	34以下	35～44	45～54	55～64	65以上
R2小学校 (8市町)	国語	標準 5%	標準 15%	標準 37%	標準 42%	標準 1%
	算数	標準 7%	標準 24%	標準 29%	標準 45%	標準 3%
	理科	標準 6%	標準 19%	標準 35%	標準 36%	標準 4%
R2中学校 (9市町)	国語	標準 4%	標準 14%	標準 35%	標準 45%	標準 2%
	社会	標準 2%	標準 20%	標準 38%	標準 28%	標準 11%
	数学	標準 3%	標準 19%	標準 31%	標準 37%	標準 11%
	理科	標準 4%	標準 26%	標準 35%	標準 27%	標準 8%
	英語	標準 5%	標準 22%	標準 30%	標準 39%	標準 3%

低学力層の推移

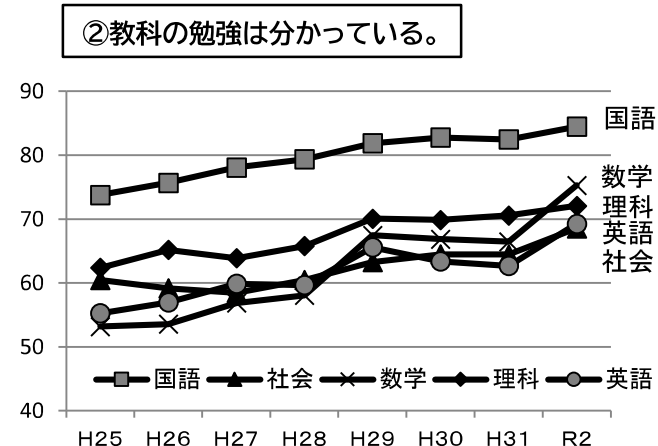
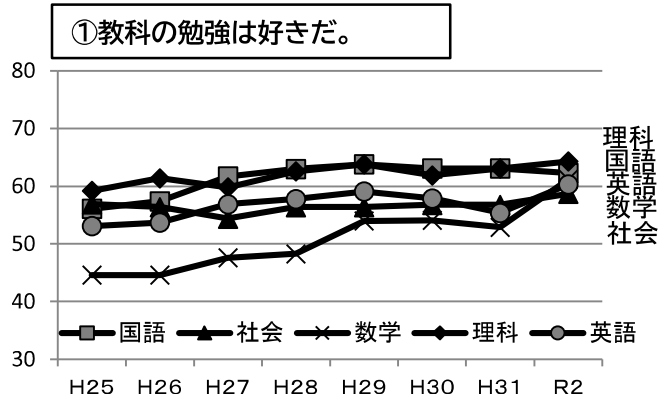


6. 質問紙調査の結果(肯定的回答の割合)

小学校



中学校



小学校

中学校

③友だちの表情などから今の心を思いやり、自分だったら どうしてほしいか、それをよく考えてから行動する。



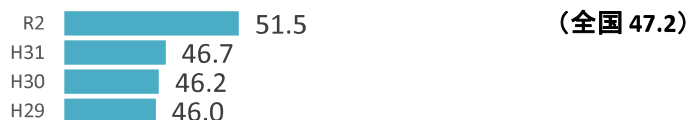
④クラスや部活内で、冷やかされたり、からかわれたり、いやなことをしつこく言われたりすることはない。



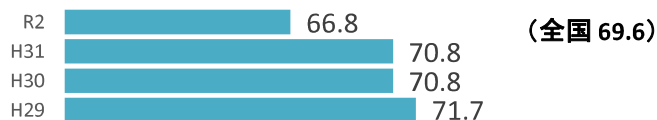
⑤将来、あんな人になりたい、こんな事がしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がある。



⑦家で勉強するときは、自分で計画を立てている。



⑥自分には、いいところがあると思う。



⑧学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日当たりテレビゲームを2時間以上する。



分析と今後の取組

分析

1. 児童生徒は一定レベルの学力を身につけている
 - 小・中学校とも全ての教科・区分で、偏差値50を上回った
 - 小・中学校とも全ての教科で、低学力層の児童生徒の割合が減少した
2. 小学校は、これまで積み上げてきた「授業づくりのスキル」の継承を組織的に進めることが必要
中学校は、学力向上の取組を継続・充実させることが重要
3. 家庭学習に自ら計画を立てて取り組ませる指導等、自立した学習者の育成を目指す必要がある
4. 自己肯定感を高め、「夢や目標」を持たせる指導や支援が一層求められる

今後の取組の重点

1. 小学校における若手教員の授業力を高める組織的な取組の推進
 - ①「2020からの授業づくりハンドブック」「ICT活用ハンドブック」を活用した授業実践及び研修の推進
 - ・ 生徒指導の3機能を意識した授業 ⇒ 確かな学力の育成・自己肯定感の高揚
 - ②小学校高学年における教科担任制の推進 ⇒ 「分かる・楽しい」授業
 - ③「授業力向上アドバイザー」による若手教員への個に応じた指導・支援
2. Withコロナにおける特別活動や体験的な学習の保障
 - ①自己有用感や達成感を味わわせる活動を生み出す工夫
 - ②今年度後半における学校行事等の教育計画の再編成
 - ③「キャリア・ノート」を活用した「目標をもって生きる意欲や態度」の育成

